



はじめに

初秋の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通省は、毎年7月を河川愛護月間とし、「川が好き 川にうつった 空も好き」を推進標語に、河川に対する関心と理解を深めていただくこと等を目的として、「吉野川一斉清掃」の実施等、安全で、美しく、良好な河川環境づくりのための様々な活動を皆様方と共に推進しております。

「吉野川流域一斉水質調査」は、四国四県に住む皆様に、身近な川や水に触れ、楽しみながら川や水の環境を知っていただきたいとの思いから、平成12年から実施し始め、今回で8回目となりました。

この度、「吉野川流域一斉水質調査 2006」の結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今年は7月23日に、約800名の参加者のご協力を得て調査を行うことができました。

今年は梅雨前線の影響で7月17日から断続的に雨が降り、当日の午前中は曇りでしたが昼頃から雨が降りました。このため、川の流量がいつもより増えており、皆様が事故なく調査を終えることができ安心しております。

国土交通省、(独)水資源機構、吉野川交流推進会議及び(社)四国建設弘済会では、四国四県の皆様が吉野川流域で一斉に実施する取り組みを通じて、吉野川の情報を共有し、そして川の環境について関心を持ち、みんなで明日の吉野川を考え、一人ひとりが行動していくことが、命の水を守り、豊かな自然環境を育んでいく第一歩だと考えています。

来年以降も引き続き同様の調査を実施して参りたいと考えておりますので、今後とも多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参加いただいた皆様方にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

平成18年9 月

(呼びかけ人代表)

国土交通省 徳島河川国道事務所長

佐々木 一英

